※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０３

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英文法演習	2	3	・Vision Quest New English Grammar24 (KEIRINKAN) ・上掲書 WORKBOOK (KEIRINKAN) ・Next Stage (桐原書店) ・英語の構文 80（美誠社） ・英語の構文 80 総合問題演習 (美誠社)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英文法演習の授業では、１・２年時の論理・表現で学んだことを土台とした上積みの内容を学習することになります。１・２年時の内容を思い出し、あるいは時にはその時に学んだ内容に立ち返りながら、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」の活動にさらに磨きをかけて取り組みましょう。英検取得や大学入試に向けた実践的な問題を Next Stag や V 英語の構文 80 で理解を深め、より難易度の高い問題にチャレンジしていきます。
構文やイディオムなど、必要な文法事項についてしっかりと学んでいきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・例文などを繰り返し聞く。ネイティブと同じ発音で読むことができるまで、繰り返し聞く。	・必要な構文やイディオムを音読し、暗唱することで表現の応用力を身に着ける。	・簡単なイディオムや様々な構文を使い、自分の身の回りのことに置き換えて話してみる。	・Speaking Test などを実施し、暗唱文をクラスの前で発表する。暗唱の内容は、自分の身近なことについての内容や、教科書の例文を使って発表する。	・必要文法事項を使って英作文を書く。文章（主語・動詞がある文）を正確に書けるようにする。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ・外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	・目的・場面・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，目的・場面・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている	・外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	L 21 比較１ L 22 比較 3 Lesson 23 仮定法 1 Lesson 24 仮定法 2	聞くこと	a:文法事項(比較と仮定法）を理解している。 b: 比較と仮定法に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 比較と仮定法に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a:文法事項(比較と仮定法）を理解している。 b: 比較と仮定法の文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している。 c: 比較と仮定法について、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと （発表）	a:文法事項(比較と仮定法）を理解している。 b: 自分や身の回りの事項について、比較と仮定法を用いて話すことができる。例文を少し変え、工夫を凝らし、オリジナルの文で相手に話すことができる。 c: 自分や身近な人物について、比較と仮定法を用いて主体的に話そうとしている	スピーキングテスト
		書くこと	a:文法事項(比較と仮定法）を理解している。 b: 身近な人物について比較と仮定法を用いて書いている。 c: 身近な人物について比較と仮定法を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティングテスト
	中間考査			
	第１章 （it から始まる構文） ①②③④⑤⑥ 第２章 無生物主語構文 ⑦⑧⑨⑩	聞くこと	a:文法事項（第１章と第２章）を理解している。 b: 文法事項（第１章と第２章）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 文法事項（第１章と第２章）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 文法事項（第１章と第２章）を理解している。 b: 文法事項（第１章と第２章）に関する文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している。 c: 文法事項（第１章と第２章）に関する文について、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと （発表）	a: 文法事項（第１章と第２章）を理解している。 b: 自分や身の回りの事項について、文法事項（第１章と第２章）を用いて話すことができる。例文を少し変え、工夫を凝らし、オリジナルの文で相手に話すことができる。 c: 自分や身近な人物について、文法事項（第１章と第２章）を用いて主体的に話そうとしている	スピーキングテスト

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 文法事項（第１章と第２章）を理解している。 b: 身近な人物について文法事項（第１章と第２章）を用いて書いている。 c: 身近な人物について文法事項（第１章と第２章）を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティングテスト
	期末考査			
２学期	第３章 目的語と補語の研究 ⑪⑫⑬ 第４章 目的語と補語の研究 ⑭⑮⑯⑰ 第５章 代名詞の研究 ⑱⑲⑳	聞くこと	a:文法事項（第３～第５章）を理解している。 b: 文法事項（第３～第５章）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 文法事項（第３～第５章）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 文法事項（第３～第５章）を理解している。 b: 文法事項（第３～第５章）に関する文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している。 c: 文法事項（第３～第５章）に関する文について、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと (やり取り)	a: 文法事項（第３～第５章）を理解している。 b: 自分や身の回りの事項について、文法事項（第３～第５章）を用いて話すことができる。例文を少し変え、工夫を凝らし、オリジナルの文で相手に話すことができる。 c: 自分や身近な人物について、文法事項（第３～第５章）を用いて主体的に話そうとしている	スピーキングテスト
		書くこと	a: 文法事項（第３～第５章）を理解している。 b: 身近な人物について文法事項（第３～第５章）を用いて書いている。 c: 身近な人物について文法事項（第３～第５章）を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティングテスト
	中間考査			
	第６章 助動詞の研究 ㉑㉒㉓㉔ 第７章 不定詞の研究 ㉕㉖㉗㉘㉙㉚	聞くこと	a:文法事項（助動詞・不定詞）を理解している。 b: 助動詞・不定詞に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 助動詞・不定詞に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a:文法事項（助動詞・不定詞）を理解している。 b: 助動詞・不定詞に関する文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している。 c: 助動詞・不定詞について、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと （発表）	a:文法事項（助動詞・不定詞）を理解している。 b: 自分や身の回りの事項について、助動詞・不定詞を用いて話すこ	スピーキングテスト

※令和４年度以降入学生用

			とができる。例文を少し変え、工夫を凝らし、オリジナルの文で相手に話すことができる。 c: 自分や身近な人物について、助動詞・不定詞を用いて主体的に話そうとしている	
		書くこと	a:文法事項（助動詞・不定詞）を理解している。 b: 身近な人物について助動詞・不定詞を用いて書いている。 c: 身近な人物について助動詞・不定詞を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティングテスト
	期末考査			
３学期	第８章 動名詞の研究 ㉛㉜㉝㉞㉟㊱	聞くこと	a:文法事項（動名詞）を理解している。 b: 身近な人物に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 身近な人に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 文法事項（動名詞）を理解している。 b: 身近な人物に関する文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している。 c: 必要な表現や文章について内容を把握することができる。	スピーキングテスト
		話すこと (やり取り)	a: 文法事項（動名詞）を理解している。 b: 自分や身の回りの事項について、動名詞を用いて話すことができる。例文を少し変え、工夫を凝らし、オリジナルの文で相手に話すことができる。 c: 自分や身近な人物について、動名詞を用いて主体的に話そうとしている	スピーキングテスト
		書くこと	a: 文法事項（動名詞）を理解している。 b: 身近な人物について動名詞を用いて書いている。 c: 身近な人物について動名詞を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティングテスト
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度